

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

参加者数	のべ 32 人(うち外国人 5 人)
実施日	4 月 27 日、5 月 25 日、6 月 29 日、10 月 28 日、11 月 16 日、12 月 21 日、1 月 25 日、2 月 29 日

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語(9 言語)で情報提供した。

2. 子どもサポート事業

(1)多文化子ども保育 “ここにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもや大人と接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語活動活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数(のべ人数):うち外国人 ボランティア登録者数(のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	45 回	3 人	子ども(105):うち外国人(105) ボランティア登録者数(123)
金曜日	10:30~12:00	47 回	5 人	子ども(358):うち外国人(358) ボランティア登録者数(180)
			合 計	子ども(463):うち外国人(463) ボランティア登録者数(303)

◆豊中市子ども読書活動連絡会

豊中市では今年度より「豊中市子ども読書活動推進計画」を「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」(子ども未来部)の中に組み入れられ、新たに「こども読書活動連絡会」を立ち上げ、年 2 回の報告会を持つこととなった。組織改編に伴う時間がかかったのか、年 2 回の報告会ということからか、10 月の会議と 3 月の会議のみとなり、実質的な推進活動が見えにくくなっている。

協会では、以降毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行った。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題のひとつとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな意味があった。この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、「外国語絵本コーナー」の設置と 8 言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加するすべての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めた。また昨年度より継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを始めており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境がとついている。

また、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にここにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。

<ハード面での環境整備>

- ① 外国語絵本コーナーの整理、周知
- ② 市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ① 外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ② 多文化保育にここにこで、絵本の読み聞かせを行った。

実施日(内容)	場 所
11月25日 第1回子ども読書活動連絡会	いずれも 岡町図書館
3月10日 第2回子ども読書活動連絡会	

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として今年はパネル展示を行い、当協会が実施する子育て支援事業の広報をおこなった。(10月31日@すこやかプラザ/12月12日@庄内体育館)

(2) 子ども母語教室

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業  
こどもサポート事業

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜	2015年4月12日	10:00~12:00	92回	子ども(129)、ボランティア(154) 総合計 283人(うち外国人 240人)
第4日曜	2016年3月27日			

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)		合計
中国語	23	子ども 36	ボランティア 42	78
ポルトガル語	23	子ども 31	ボランティア 29	60
スペイン語	23	子ども 56	ボランティア 64	120
インドネシア語	23	子ども 6	ボランティア 19	25
総合計				283

<その他>

実施日	内 容	参加者数 (人)		合計
5月10日	【合同イベント】母の日 メッセージカード作り	子ども 6	ボランティア 5	11
6月14日	【合同イベント】ポルトガルのおまつり(フェスタ・ジュニーナ)	子ども 3	ボランティア 4	7
11月22日	【合同イベント】スペインのゲーム(ピニャータ)と料理(カウサ)作り	子ども 13	ボランティア 8	21
1月24日	【合同イベント】中国の旧正月(水餃子作り)	子ども 3	ボランティア 9	12
2月14日	【合同イベント】中高生向けイベント	子ども 5	ボランティア 5	10
総合計				61

(3) 学習支援・サンプレイス

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業  
こどもサポート事業

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は若者支援に通う「多文化ダンス教室」の子どもたちが教室が終わってから来たため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
毎週日曜	4月12日~3月27日	13:00~15:00	42	こども (うち外国人)	386(333)
				ボランティア(うち外国人)	273(166)
				合計 (うち外国人)	659(499)

<その他>

実施日	内 容	参加者数(人)	合計
5月17日	サンプル遠足(於:万博公園)	子ども(15)、ボランティア(7)	22
5月17日	サンプルの子どもが作詞作曲した歌の発表会	子ども(4)、ボランティア(11)	15
7月12日	スイカ割り	子ども(14)、ボランティア(14)	28
8月6日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ①	子ども(2)、ボランティア(2)	4
8月7・8日	全国外国人生徒交流会 (於:豊中市立青少年自然の家 わっぱる)	子ども(4)、ボランティア(6)	10
8月9日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ②	子ども(4)、ボランティア(4)	8
8月16日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ③	子ども(9)、ボランティア(9)	18
8月20日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ④	子ども(4)、ボランティア(4)	8
8月23日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ⑤	子ども(11)、ボランティア(4)	15
8月23日	流しそうめん	子ども(15)、ボランティア(7)	22
10月22日	サンプル秋遠足(於:ふれあい緑地)	子ども(28)、ボランティア(7)	35
10月22日	さんあいイベント出店	子ども(2)、ボランティア(2)	4
10月25日	ハロウィン	子ども(6)、ボランティア(6)	12
		総合計	197

◆子ども事業スタッフ・ボランティア研修

実施日	内 容(講 師)	参加者数 (人)
4月26日	第12回ブラジル移民祭2014(主催:NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK)	2
5月31日	ボランティア交流会	10
7月19日	ボランティアミーティング(子どものSNS使用について)	9
7月25日	母語教育支援研修会(主催:公益財団法人 神戸国際交流協会)	1
8月12・13日	若者事業コーディネーター・子ども事業ボランティア合同合宿	19
8月23日	『多文化共生』を考える研修会 2015(主催:公益財団法人 神戸国際交流協会、 神戸定住外国人支援センター)	1
1月30日	第2回識字・日本語学習研究集会(主催:大阪教育大学教職教育研究センター/識 字・日本語学習研究集会実行委員会)	1
2月14日	子ども事業ボランティア研修①「お互いの話を聞きあおう」	8
3月13日	子ども・若者事業合同ボランティア研修②「 講師:金光敏さん(NPO 法人 コリア NGO センター)	16
3月27日	母語スタッフ研修	11
	合計	78

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加 者数
5月15日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
5月21日	池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	1
6月12日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
7月3日	大阪府教育委員会 学事グループ相談	大阪府教育委員会	1
7月12日	高校進路相談会(主催:しょうない REK)	しょうない REK	1
7月21日	大阪府教育委員会 人権企画課相談	大阪府教育委員会	2
7月24日	とよなか進路フェア実行委員会	豊中市立青年の家 いぶき	1
7月28日	韓国朝鮮の遊びと文化のつどい「ハギハッキョ」	豊中市立南桜塚小学校	2
7月31日	大阪府教育委員会 学事グループ・人権企画課グループ面談	大阪府教育委員会	6
8月6日	過年度生についての情報交換会	大阪国際交流センター	4
8月7日、 8日	全国外国人教育推進協議会 生徒交流会	豊中市立青少年教育センター	10
8月30日	とよなか進路フェア	豊中市立青年の家 いぶき 豊中市立豊島体育館	2
9月8日	川西市とのケース会議	川西市役所	3
9月29日	川西市とのケース会議	川西市役所	2
10月2日	「さんあいイベント」うちあわせ	みとい福祉会	3
10月16日	外国にルーツある生徒のための高校入試説明会	大阪府立東淀川高等学校	1

10月16日	大阪府教育委員会地域教育振興課社会教育グループからの外国人の子ども・若者の実態把握等についての相談	とよなか国際交流センター	2
10月18日	さんあいイベント	ふれあい緑地	5
11月5日	外国にルーツをもつ子どもネットワーク会議	とよなか国際交流センター	2
11月6日	豊中市子ども・若者支援協議会 第1回代表者・実務者合同会議	豊中市立青年の家 いぶき	2
11月6日	シンポジウム「これからの豊中市若者施策に必要な視点」	豊中市立青年の家 いぶき	2
11月26日	セミナー「子どもの貧困～高校中退、低学力、不登校～その実態と支援のあり方」講師:青砥恭さん	蛍池人權まちづくりセンター	1
12月12日	京都女子大学現代社会学講座「ハーフが日本代表じゃだめですか？」	京都女子大学	3
12月15日	第3回子ども施策推進本部連絡会議 相談・支援専門部会実務担当者会議 および ライフセーフティネット総合調整会議・教育と福祉の連携推進部会実務担当者会議		1
2月4日	子ども・若者支援協議会 研修会	豊中市立青年の家 いぶき	1
2月12日	子ども・若者支援協議会 研修会	くらしかん	1
2月16日	第5回子ども施策推進本部連絡会議 相談・支援専門部会実務担当者会議 および ライフセーフティネット総合調整会議・教育と福祉の連携推進部会実務担当者会議	すこやかプラザ	1
3月3日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室修了式	池田市立呉服小学校	1

### 子ども相談 合計 119 件

内容	件数
学習支援	7
母語・母文化学習	0
日本語支援	8
進学／進路	27
就労	3
金銭問題	0
学校でのトラブル	1
家庭内のトラブル	47
保健	19
その他	7
合計	119

### Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

#### 1. 小学校外国語体験活動事業(豊中市教育委員会受託事業)

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校英語(外国語)体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した(2006年度より)。地域に暮らす外国人(ボランティア)が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

##### ◆事業内容

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ① 教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ② その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③ 学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐくまれ、マイノリティの子どものエンパワーメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワーメントにもつながる取り組みをした。

##### ◆実施体制

＜ボランティア:英語22人(11か国)、その他の言語34人(14か国・地域)、コーディネーター7人＞  
英語体験活動のボランティアは、英語を第1、第2言語または生活・学習言語としてきた者が中心であった。また英語以外の外国語体験活動ボランティアは、自国のことばと共に、日本語または英語の能力を有する者であった。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

##### ◆実施実績

ボランティア数	55人
ボランティア活動総時間数	1,250時間
体験子ども数	のべ約37,500人
英語ボランティア国籍数	11か国 21人
内訳	フィリピン、タイ、フランス、インド、スリランカ、インドネシア、マレーシア、モロッコ、モンゴル、ルーマニア、韓国
外国語ボランティア国籍数	14か国・地域 34人
内訳	韓国、中国、フランス、タイ、ブラジル、ロシア、ペルー、モンゴル、エジプト、ドイツ、スリランカ、フィリピン、モロッコ、マレーシア

#### 2. 国際教育推進事業

##### ◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3カ年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2015年度は2月19日に国際教育研修会として、この数年の国際教育フォーラムで助言者として、豊中の国際教育のすすめ方に深く関わってこられた堀田博史先生(園田学園女子大学教授)を講師に招き、「ESDの考え方と学習活動の関連性」と題した講演とワークショップを行い、今日のグローバル社会が求められている「生きる力」の育成に向け、ESDの考え方と毎日の学習活動の関連性を学び、日常の授業づくりに役立てるためのワークショップを行った。

その他、第九中学校のサンマティオの姉妹校との交流の様子「BREL週間までの道のり」が報告されたり、上野小学校の取組「うへのワールドミュージアム」の広報案内がされたり、とよなか国際交流協会との共催事業「多文化フェスティバル」の企画や事業の報告がなされたりして、地域の学校や国際交流協会との協力関係を前進させることができた。

《豊中市国際教育推進協議会の開催について》

・協議会の開催 3回

第1回 5月26日 取り組みの方向性 年度計画、実務機関の設置について

第2回 12月14日 実務担当者会進捗状況 第九中学校・ぼれるミドルスクールの交流について  
国際教育研修会、国推協共催事業について

第3回 3月25日 年度総括と次年度に向けて、各実務担当者会・国際教育研修についての報告等

・実務担当者会(ESD実践ガイド) 1回

第1回 11月5日 実務担当者会の目的・各校園の取組内容・今年度計画等について

・実務担当者会(日本語指導) 2回

第1回 12月4日 ・児童生徒の日本語に課題があると気づくためのチェックリストについて①  
・特別の教育課程とDLAについて

第2回 2月3日 ・児童生徒の日本語に課題があると気づくためのチェックリストについて②

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計22団体

大阪府教育委員会	豊能地区在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
箕面市教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
能勢町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能町教育委員会	豊能町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
池田市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
豊中市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
箕面市進路保障協議会	大阪府在日外国人教育研究協議会
豊能郡進路保障協議会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会

豊能ブロック「多言語による進路ガイダンス」	
実施日時	2015年10月31日(土) 13:00～16:00 ※13:00～14:00 進路説明会 ※14:00～14:20 先輩体験談 ※14:30～16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	91人
	内訳 生徒 14人／保護者 14人／通訳者 12人(9か国) 先輩 2人 / 関係者 49人

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1)とよなか子ども日本語教室

2010年度に始まったとよなか子ども日本語教室から日本語指導者グループ「とよなか JSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなか JSL・行政の三者協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業(「こどもにほんごプロジェクト」)」が3ヶ年計画として始まった。2015年度は、3ヶ年計画を一年延長し、指導案づくりや情報共有・協働の体制づくりをさらに進めた。協会は活動の周知や参加希望者の取次ぎ、学校や市教委等との連携・調整役として事業運営に参画した。

◆「こどもにほんごプロジェクト」企画会議

協働三者と関係機関で構成される企画会議に参加、事業の進捗やあり方についての情報共有・意見交換を行った。

実施日	第一回企画会議 : 2015年5月28日(木) 13:00～14:00
	第二回企画会議 : 2015年10月15日(木) 13:00～14:00
	第三回企画会議 : 2016年3月3日(木) 13:00～14:00
場 所	豊中市役所
企画会議委員	とよなか JSL、豊中市人権政策課、教育委員会事務局人権教育課、教育委員会事務局学校教育課、(公財)とよなか国際交流協会、コミュニティ政策課(オブザーバー)

◆とよなかこども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週 3 回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に随時ミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの継続的なかわりのなかで指導力が向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。

また、昨年に引き続き協働団体間の「情報交換会」を月 1 回程度開催し、日本語指導を必要とする子どものスムーズな受け入れや教室での情報共有に努めた。

また、日本語学習相談は 26 件と昨年度をやや下回る件数となった。これは、(1)「子ども日本語教室」の認知が学校現場や保護者側に進み、開催時間や申し込み方法などの概要についての問い合わせが減少したこと、(2)教室に通う子どもの保護者、学校との連携がスムーズにいったため、通級者への相談対応の必要が少なかったためと思われる。

実施日	毎週月曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週木曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週土曜 14:30～16:00/ 16:00～17:30
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2015 年 4 月 6 日～2016 年 3 月 19 日
回 数	128 回
参加者数	子ども のべ 1,558 人、 ボランティア のべ 1,179 人
	計 2,737 人
日本語学習相談	26 件

◆日本語指導者スキルアップ講座

こどもにほんごプロジェクト(とよなか JSL、豊中市教育委員会、(公財)とよなか国際交流協会)と、関西地区日本語指導者研究会の共催で、「とよなかこども日本語教室」に関わるボランティアのスキルアップを目的とした講座を開催した。

実施日	2015 年 7 月 25 日(土) 11:00～16:30
場 所	とよなか国際交流センター
内 容	1)「とよなかこども日本語教室」ボランティアによる指導案の提案および資料提示による討議 2) 専門家からの指導助言 大菅佐妃子さん(豊中市教育委員会指導主事) 田中薫さん(とよなか JSL 共同代表)
参加者数	36 人 (内訳: 一般参加 22 人、講座関係者 14 人)

◆「こどもにほんご教室」事業報告会・学校等交流会の開催

4年間の協働事業のまとめの報告会、ならびに外国にルーツをもつ子どもに携わる学校関係者との意見交流会を開催した。内容は二部構成で、第一部では協働事業の変遷や「こどもにほんご教室」の現状について全体で共有したのち、第二部で学校交流会、授業内容の解説を行った。学校交流会では、学校関係者にとほんご教室ボランティアが中心となり、学校現場や日本語教室での様子を共有し、今後の日本語指導に向けての対応などを相談・確認した。授業内容の解説では、指導の様子を見たことがない人にも分かりやすいよう、ビデオや実際の教材を参照しながら発表をおこなった。

実施日	2016年2月18日(木) 15:00~16:15
場 所	とよなか国際交流センター
内 容	<p>◆第一部「事業報告会 Part1」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施経過の説明</li> <li>・日本語指導による児童生徒の様子の変化など (指導案の紹介/日本語教室の状況について)</li> </ul> <p>◆第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校交流会: 学校の先生方との意見交流</li> <li>②事業報告会 Part2: ビデオ・資料を使った授業解説</li> </ul>
参加者数	30人 (内訳: 学校関係者13人、人権教育課3人、コミュニティ政策課1人、とよなか国際交流協会3人、とよなかJSL10人)

◆ボランティア募集

今年度は、チラシでのボランティアの募集を行い、新たに2人のボランティアが参加した。昨年度「こどもの日本語指導者養成講座」で実施していた内容を個別対応に切り替え、ボランティアの養成を行った。

(2)多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。10回目を迎えた2015年度は、新たにゼロからの企画となった。午前中は国際教室、帰国教室、韓国朝鮮の遊びと文化のつどい、学習支援「サンプレイス」、多文化ダンス教室「わたパチ」など市内各地で活動している子どもたちによる文化発表を行った。午後は、大学生や大学院生、桜塚高校の生徒がボランティアスタッフとして入り、「大きな絵巻物を作ろう」というワークショップを行った。今回初めて地域の高校、桜塚高校とつながり、企画・運営に関わってくれた。

実施日	内 容	
実行委員会	4月23日、6月25日、9月11日、10月16日、11月5日、11月19日、12月10日(計7回)	
メンバー	人権教育課、学校教育課、豊中市外教、とよなか国流	
ワーキンググループ会議	10月22日、10月31日	
内 容	ワークショップの進め方など	
参加者数	計10人 (10/22 5人、10/30 10人)	
	子ども会議	
	実施日	11月8日、15日、22日
	内 容	11月8日: アイスブレイク、コンセプトの説明 11月15日: 絵のアイデアを出し合う 11月22日: 試しに絵を描いてみる
	参加者数	①11月8日:13人 ②11月15日:17人 ③11月22日:11人
多文化フェスティバル	11月28日(土) 10時~16時	
場 所	すてっぷホール	
(参加人数)	多文化フェスティバル(110人、うち外国人50人)	



◆南北コリアと日本のともだち展

2001年北朝鮮で起きた飢餓問題を受けて、「21世紀を平和の世紀としたい」という願いのもとに、日本と朝鮮・韓国・在日コリアンの子どもたちの出会いと交流の場として「ともだち展」が東京で始められた。2011年、大阪で実行委員会形式でこの「ともだち展」を大阪国際交流センターならびにとよなか国際交流センターで開催し、今年度は5回目の大阪展であった。今回の絵画展は「わたしのおきにいり」がテーマであった。

今年度も昨年度に引き続き、協会から韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい実行委員会に呼びかけ、朝鮮半島にルーツを持つ子どもたちに絵画の作成をしてもらった。また、協会事業(子ども母語、サンプルイス)に参加する子どもたちにも声掛けをし、作成してもらった絵画を多文化な子どもたちの絵として、とよなか展に展示し、他の会場で展示される予定である。とよなか展は豊中市の人権月間に合わせて11月20日～12月4日にかけて開催し、のべ3,265人(うち外国人1,450人)の来場があった。

実行委員会	6月17日、7月29日、8月31日、10月23日、12月14日、3月11日(計6回)		
メンバー	(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局、大阪市小学校教育研究会国際理解教育部会、大阪ユネスコ連絡協議会(大阪ユネスコ協会、エリーニ・ユネスコ協会、箕面ユネスコ協会)、(公財)関西韓国YMCA、国際教育フォーラム、(特活)コリアNGOセンター、(公財)大阪YWCA、在日韓国基督教教会館(KCC)、在日コリアン青年連合(KEY)(公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会		
大阪展	11月13日～11月15日	展示枚数	238点
場 所	大阪国際交流センター	参加者数	206人
豊中展	11月20日～12月4日	展示枚数	52点
場 所	とよなか国際交流センター	参加者数	3,265人(うち外国人1,450人)
子どもワークショップ	①11月14日 ②11月28日		
場 所	①大阪国際交流センター ②とよなか国際交流センター		
内 容	①「東アジアのみんなに挨拶を送ろう！」等身大の自画像を作る。 ②「大きな絵巻物を作ろう！」		
参加者数	① 23人 ②70人		
トークイベント	11月15日		
場 所	大阪国際交流センター		
テーマ(講師)	①10代しゃべり場！！②ともだち展が「いま」果たす役割③20代しゃべり場！！		
参加者数	①13人 ②3人 ③2人		

(3)若者支援(文化庁受託事業【平成27年度『生活者としての外国人』のための日本語教育事業】「外国にルーツをもつ若者の生活力・表現力アップ日本語事業」委託期間:2015年4月13日～2016年3月20日、※その他の期間は、自主財源で実施)

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。3年間の節目の年となる今年度は、これまでの取組の成果をふまえて定例活動である3つの取組(計6つの活動)を充実させるとともに、行政や地域市民との協働をいっそう深めた。

◆事業運営委員会

実施日	2015年6月9日、11月27日、2016年3月18日(計3回)
メンバー	豊中市 教育委員会 人権教育室 課長 豊中市 教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 担当者 豊中市 市民協働部 暮らし支援課 若者担当主幹 豊中市 市民協働部 暮らし支援課 課長 豊中市 人権文化部 人権政策室 同和・国際担当主幹 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教 地域人権学習会「ぼちぼち」元主催者・社会福祉士 公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長、事業担当者

◆ I. ユース☆かたらい日本語講座

①若者のたまりば

高校生年齢以上の若者が、日常生活や日本語学習における疑問や不安を解消し、安心・安全で心許せる場づくりをおこなった。同じ背景をもつ仲間や先輩、ボランティアらと出会い、料理をつくりながら交流をすすめた。地域のイベントや集まりにも参加し、地域市民との関わりをもちながら、活動の幅をひろげた。今年度は、多方面で活動する人々を講師に招き、お話しを聴いて考える「寺子屋@たまりば」を開催し、知識や出会いの可能性を広げた。

実施日/期間	2015年4月2日(木)～2016年3月31日(木) 毎週木曜日 18時～20時30分(4月は18時～20時)
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	53回
内容(一例)	流しそうめん(8月20日):夏の風物詩「流しそうめん」を体験しながら、各国の文化や麺料理について話し合う。/クリスマス会(12月24日):クリスマスにちなんで、催事料理をつくって食べながら、各国・地域の伝統行事について語り合った。/来年度に向けて(3月10日):自分にとっての「若者のたまりば」について短い文章で表現したものを発表しあった。
参加者数	若者 のべ 539人 (うち外国人 341人)
	講師 のべ 102人(うち外国人 102人)

《勉強会「寺子屋@たまりば」》

実施日	タイトル・内容	講師(所属)
・11月26日	「奨学金問題について」 奨学金問題をめぐる課題と対策について	K.Mさん(関西学生アルバイトユニオン)
12月10日	「お互いを大切にする関係ってどんなだろう ～デートDVを参考に」 デートDV例に交際の在り方を考える	M.Cさん(大阪大学大学院)
1月21日	「ムスリムをしよう①」 ハラール料理づくり&試食	J.Sさん(大阪大学大学院)
2月25日	「ムスリムをしよう②」 ムスリムの講師の方からお話を聴く	J.Sさん(大阪大学大学院)
3月17日	「10年のふりかえり」 協会ボランティアの活動の歴史を聴く	N.Yさん(公益財団法人とよなか国際交流協会)

《課外活動実績》

実施日	タイトル	会場
5月30日(土)	遠足にいこう	「ザ・ファーム ユニバーサル」(茨木市)
8月1日(土) ・2日(日)	豊中まつり2015 市民ふれあい広場での 「たまりバル」出店	豊島公園(豊中市曾根南町)
10月31日 (土)	ハロウィンパーティ	市内広場

②おしごとカフェ

外国にルーツをもつ若者が、多様な人々や考え方に会い、将来の生き方について考える「カフェ」として、毎回テーマを設定し、講座を開催した。安心・安全な雰囲気づくり、同じ外国にルーツをもつ仲間(ピア)との出会う場所としての、場づくりを行った。また、気持ちの表現や働くことに関する日本語表現の習得を目指した。

実施日/期間	5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日、10月24日、 11月21日(課外活動)、12月26日、2016年1月23日、2月27日 毎月第3土曜日 14時～16時
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター/あさひビール工場(大阪府吹田市)
回数	10回
内容(一例)	はたらくことをイメージしよう(働いていて楽しかったことや困ったことなどを聴きあう)・労働ぶち講座(労働法を簡単な日本語で学ぶ)(6月27日)/工場見学(参加者で計画を立て、ビール工場へ見学を実現した。)(9月26日・10月24日・11月21日)
参加者数	若者 のべ 83人 (うち外国人 56人)
	講師 のべ 10人 (うち外国人 1人)

◆ユース☆ひょうげん日本語

①ダンス de ひょうげん講座

若者の自己表現をテーマに、多感な時期であり社会に出て行く過程にある若者が、興味関心にあった日本語を学びながら、地域社会とつながるきっかけをつくることを目的とした。具体的には、「多文化ダンス教室『わたパチ』」および『若者クラス』を通じて、ダンスを通じた表現活動・仲間づくりの活動、日本語でのコミュニケーション・自己表現の習得、地域とのつながりづくりなどをおこなった。

① 多文化ダンス教室「わたパチ」	
実施日／期間	2015年4月2日～2016年3月31日 木曜日 18:00～20:00／日曜日 10:00～12:00
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	89回
参加者数	若者 のべ 1010人 (うち外国人 715人) 講師及びボランティア のべ 166人(うち外国人 152人)

② 「若者クラス」	
実施日／期間	2015年4月5日～2016年3月31日 日曜日 13:00～15:00
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	40回
参加者数	若者 のべ 173人 (うち外国人 152人) 講師及びボランティア のべ 85人(うち外国人 58人)

【発表実績】

実施日	内容	会場
5月10日(日)	『わたパチ』プチ発表会	とよなか国際交流センター
6月20日(土)	「サンパティオの日」 ゲスト出演	サンパティオホール(豊中市庄内西町)
8月2日(日)	豊中まつり 2015 市民ふれあい広場ステージ発表	豊島公園(豊中市曾根西町)
9月6日(日)	とよなか国際交流フェスタ ステージ発表	とよなか国際交流センター
10月4日(日)	とよなかダンスフェスタ ゲスト出演	ローズ文化ホール(豊中市野田町)
12月24日(木)	「若者のたまりば」クリスマス会にて プチ発表	とよなか国際交流センター
2016年3月17日 (木)	ルワンダの子どもたちとのダンス交流・発表会	とよなか国際交流センター

②ラジオ de ひょうげん講座 ～インターネットラジオ番組『とよなかエアライン』～

ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、オリジナル番組を計画することで、メディアを通じた表現の手法を学んだ。また、仲間と共に番組制作、発信など一連のプロセスを経ることで自信をもって自分の意見や想いを日本語で表現することが出来た。

実施日	2015年4月3日～2016年3月21日(計22回)
場 所	とよなか国際交流センター／豊島公園(豊中市曾根南町)／ピアサロン(豊中市中桜塚)
内容一例 (実施日)	インタビューをしてみよう(6月7日):講師のインタビューをもとに、自分なりのインタビュー項目を検討した。ゲストを迎えて、番組の録音を行った。/ インタビューをしてみよう《屋外編》(8月2日):豊中まつり出店者、参加者にやさしい日本語でインタビューを実施した。/ 自分のラジオ番組をつくらう(1月9日):韓国ルーツの若者の話を聴きながら、自分の番組にゲストに来てもらったら、どのような番組構成、ゲスト紹介、インタビューをするかシミュレーションをおこなった。
参加者数	若者 のべ 130人 (うち外国人 114人) 講師 のべ 22人 (うち外国人 22人)

### ③映像 de ひょうげん講座 ～楽しい『てーげー大学』～

外国にルーツをもつ若者を中心とした若者やメディア研究者を講師に迎え、自分自身のライフヒストリーや自らのかかえる想い・夢、興味のあることなどについて話を聴き、他者の語りに耳を傾けると共に、語りの趣旨やその奥にある想いをひきだすための質問・意見交流をおこなった。ビデオ映像や写真、雑誌やCD・レコードなどのメディアを講座のテーマにあった形で使用し、多様な表現の在り方を検討した。

実施日	2015年5月24日、6月14日、7月12日、9月27日、11月8日、12月20日、2016年1月31日、3月20日（計8回）
場 所	とよなか国際交流センター
内容一例 (実施日)	「マウンティング」から社会を考える(6月14日):若者の間で行われているコミュニケーションの特徴を映像などで確認しながら実践を行い、感想を語り合う。/ アナログ情緒概論(11月8日):準備された多様なレコードのなかから好きなものを選び、その歌詞の単語の意味や解釈の仕方について互いに意見を交わしながら日本語の理解を深めた。
参加者数	若者 のべ 119人 (うち外国人 68人) 講師およびボランティア のべ 15人 (うち外国人 12人)

### ◆ユース☆つながる日本語

#### ①つながる日本語サポート

定時制高校に通う学生を対象に、学校・地域機関と連携を深めながら日本語支援を行った。来年度の事業展開に向け、試験的な取り組みとして実施した。

実施日	2016年1月9日、1月30日、3月5日、3月12日、3月19日（計5回）
場 所	とよなか国際交流センター
内容一例 (実施日)	ニュースを読もう(3月5日):ニュースの音読、わからない単語・文法のチェック、気になるニュースについて日本語で作文を書く/小説を読もう(3月19日):タイの高校生が読む小説を題材に、日本語で感想を作文し、発表する。
参加者数	若者 のべ 5人 (うち外国人 5人) 講師 のべ 5人 (うち外国人 5人)

#### ②つながるフェスタ「庶民派室内フェス SHO-MING-HA!!!」

文化庁委託事業の3年間のまとめとして、地域市民や大学、市民団体などつながりながら参加型成果発表会を実施した。企画段階から当日の運営まで、外国にルーツをもつ若者が中心となって取り組み、地域への参画のきっかけとした。

実施日	3月6日(日) 13時～20時
場 所	ピアサロン(豊中市中桜塚)
内容一例	「生活者としての外国人のための日本語講座」のこれまでとこれから: フェスタ参加者を対象に、本事業で実施してきた取組の成果と課題を発表するとともに、よりよい事業運営についての意見交流を行った。/ 声で伝えるメディアワークショップ: 取組で実施したラジオ講座のノウハウをいかし、フェスタに参加した人に伝わるような、アナウンス用語を使って、実際に館内放送をおこなった。
参加者数	若者 のべ 180人 (うち外国人 139人)

### ◆その他 活動報告など

実施日	内容	会場
10月3日	日本語教育大会(近畿大会) 若者支援事業の発表 (発表者: 若者事業コーディネーター6人)	エルおおさか
2016年1月30日	第2回識字・日本語学習研究集会 C分科会 若者支援事業の発表 (発表者: 若者事業コーディネーター2人)	大阪教育大学 天王寺キャンパス

